

図表に関する指針

www.rsc.org/illustrations
www.rsc.org/electronicfiles
filehelp@rsc.org

これらの指針の狙いは著者の高品質の図表製作を促進することです。最高の結果を達成する為の重要点は以下に挙げられています。

画質

- 図表は下記の形式のうちの一つで別個の電子ファイルとして提供されるべきである。広範囲の指針は以下の電子ファイルホームページの「許容可能な形式」の部分でご覧になれます。
(www.rsc.org/electronicfiles)
 - TIFF - 600 dpiの解像度で保存
 - EPS - 全てのフォントが埋め込まれたままで保存
 - PDF - 全てのフォントが埋め込まれたままで保存
- 図表が電子形式では入手不可能な場合は、高品質の原物をハードコピーとして送るべきである。インクジェットプリンターでのコピーや印刷は出版複製には殆ど相応しくない。

画像のサイズ

- 図表は一行（8.3cm）又は二行（17.1cm）の幅内におさまるべきであり、23.3 cm以上の長さであってはならない。
- アートワークは、縮小を要しないように最終のサイズで送られるべきである。

図表中の文章

- 書体は Arial フォントの 7ポイント（または Arial が使えない場合は Helvetica）
- ORTEP (又は他の) ダイアグラム中の名称のある原子には（選択された）原子番号を丸括弧内に表示すべきである。例：Cl(1), C(12).
- グラフについては、数量とは区別して軸線には丸括弧ではなく固相線 ('/') をもって SI 単位を使うべきである。例) E/V , T/K 。しかし、パーセント(%)や百万分率 (ppm) などは丸括弧で表示されるべきである。
- 単位は g/cm^3 という形よりも g cm^{-3} という形式であるべきである。
- 物理量を示すシンボルはイタリック体で表示されるべきである。例えば E/V , t/s など。

- 曲線は (A), (B), (C) など指し示されるべきであり、数字は (a), (b), (c) 等、そして統計上与えられているそれ以上の情報は凡例で表示されるべきである。

線画

- 線の色は黒で、適切で均等な太さ(1 pt 等)で、曲線は滑らかであるべきである。
- 変則な線や点線や長点線は使用可能である。
- スペクトル上の線が適度な太さであることを確認する為に特別の注意が払われるべきである。
- 単純な幾何学シンボルでグラフ上のデータポイントに印を付けること：
● ○ × □ ■ ▲ .
- 灰色に似せた陰影付け（ぼかし）は避け、適宜クロスハッチングを使う。

構造式

- 構造式は下記に記載された設定を使いながら理想的には化学製図ソフトウェア（例えば、[ChemDraw](#), [ChemWindows](#), [ISIS/Draw](#) など）によって作成されるべきである

鎖状結合角	120°
固定結合角	15°
結合の長さ	0.43 cm 又は 12.2 pt
結合の幅	0.016 cm 又は 0.5 pt
太い結合の幅	0.056 cm 又は 1.6 pt
二重結合の間隔	結合の長さの 20%
立体配置結合幅	0.056 cm 又は 1.6 pt
ハッシュスペーシング	0.062 cm 又は 1.8 pt
見出し/原子ラベル	Arial/Helvetica, 7 pt

- 数構造は太字のアラビア数字で表示する。例) **1, 2**.
- 模型や構造は単列や二列の幅を充分に利用して描かれるべきである。
特定のアプリケーションやダウンロード可能なテンプレートについての詳細な説明は以下の電子ファイルホームページの「テンプレート」セクションでご覧になることができます。

www.rsc.org/electronicfiles).

色

- 色は特定の雑誌に述べられていない限りは科学的に必要な箇所においてのみ使われるべきである。
- 陰影付け（ぼかし）を避け、同一調の明らかに識別可能な色を使用すること。

写真

- 高品質のデジタル画像又は元の印刷物を用意すること。コンピューターでの印刷やコピーは出版では十分な質に複製されない。
- カラー写真は黑白の状態として満足な状態で複製される事はほとんどない。